



長倉小 だより

開校51周年 第5号 令和7年7月17日発行

児童数 402名
学級数 18学級
電話 0480-42-7746



ホームページQRコード

被害者にも加害者にもならない夏を

長倉小学校長 いの井 うえ上 ひろ弘 え江



もうすぐ夏休み。楽しい計画、やりたいことをイメージしているご家庭も多いかと思います。子どもたちだけで過ごす時間も多くなるかもしれません。

お子さんに携帯電話等をもたせているご家庭にお聞きしたいことがあります。その中身、把握できていますか？どのような使い方をしているのか、日々、確認していますか？

小学生の SNS トラブルから事件に発展することが多くなる季節。それが夏です。



夏休みは解放感に包まれる一方で、SNSによって、子どもたちの日常が他人の目にさらされる機会も増えます。TikTok や Instagram など何げなく投稿された情報が犯罪のきっかけになる可能性があることを、大人がしっかりと意識しておく必要があります。通学路や自宅周辺の映像、家族構成や生活スタイルまでもが「たくさんの人に見られている」ことに、子ども本人は気付いていないかもしれません。

さらに、最近では、SNS に友だちの悪口を書き込む「ネットいじめ」も深刻な問題になっています。限られた人しか見ることのできない空間と思っていても、広がっていくことも防げません。軽い気持ちで投稿した一言が、周囲を深く傷つけ、学校生活に支障をきたすばかりか、命に関わる事態に発展するケースもあります。悪口は瞬時に拡散され、取り返しがつかなくなり、発信した本人とその保護者も責任を負うことになるということを正しく知っておく必要があります。

保護者の皆さんは「何を投稿しているのか」だけでなく、「誰かを傷つけてしまっているか」にも目を向ける必要があります。携帯電話などをもたせるのであれば、発信する責任と、他者への配慮を必ず教えること。SNS は楽しい場であると同時に、人の心に直接触れる繊細な空間でもあるのです。この夏、笑顔の裏で誰かが涙を流していないか。。。お子さんと一緒にもう一度考えてください。



中には、「うちの子がこうやって発信するには理由がある」とおっしゃるご家庭もあるかもしれませんが、しかし、実行していることに大きな問題があるのです。実行する前にご家庭で十分に話をすることができれば防ぐことのできることも多くあります。ご家庭での会話、対話を十分に増やす、実りのある夏休みにしてください。よろしくお祈りします。